

科名 血液内科 血128

対象疾患名 再発または難治性の急性前骨髄球性白血病(APL)

プロトコール名 JALSG APL205R Induction(IDAあり)

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7
1	点滴注	側管	グラニセロンパック	1mg	30分かけて	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
2	点滴注	側管	トリセノックス注 5%ブドウ糖液	0.15mg/Kg 250mL	2時間かけて イダマイシンと投与時間 をずらす	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
3	点滴注	側管  (CV根元)	イダマイシン 注射用水 生理食塩液	12mg/m <sup>2</sup> 5mL 100mL	30分かけて 壊死性抗がん剤 トリセノックスと投与時間 をずらす	↓	↓					

## ～MEMO～

- ・催吐レベル3(90～30%)
- ・トリセノックスは完全寛解となるまで投与するが、投与回数は**60回を超えないこと**。
- ・トリセノックス投与中は毎回心電図モニターを付けQT延長に注意する。
- ・治療開始前WRC>20,000/ $\mu$ LまたはAPL細胞>5,000/ $\mu$ Lの場合、またはブラストーマのある場合  
イダマイシン(IDA12mg/m<sup>2</sup>30分div day1, 2)を投与する。
- ・イダマイシン投与を行う場合はトリセノックスと投与時間をずらす。(ex: 午前トリセノックス、午後イダマイシン)
- ・寛解導入法終了後、血小板>50,000/ $\mu$ Lに回復を確認して  
MTX(15mg/body)+Ara-C(40mg/body)+PSL(10mg/body)もしくはDEX(3.3mg/body)  
の髄注を行う。